

共同運営部門：患者サポートセンター

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
センター長兼副病院長 兼臨床研修副センター長 兼心臓・血管センター長 兼臨床工学・技術センター長	舩津 俊宏
副センター長 兼医療マネジメント課長 兼地域医療連携室長	中西 賢

＜関連部署＞

部署名	部署名
診療局	看護局
診療支援局	事務局

＜特色と概要＞

2018年4月に「患者サポートセンター」を開設し、業務を遂行している。医師・看護師・MSW・薬剤師・栄養士・事務職員などの多職種のスタッフが集い、“安心を届けるサポートセンター”～入院前から退院後も一人ひとりを支えます～をスローガンに、地域の医療機関からの紹介窓口や入院前の支援など、幅広く医療サービスの提供に努めている。

1. 地域医療連携室の活動実績

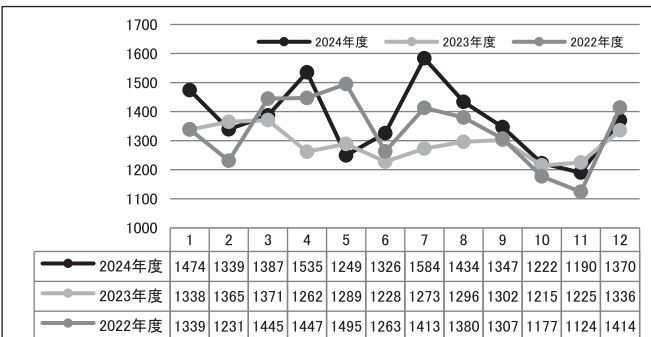
＜業務＞

地域医療連携室は、かかりつけ医である開業医、地域の病院、介護関連事業所の担当者等と連携を図り、紹介・逆紹介を活発にし、良質な医療を提供し地域医療に貢献していくための対応窓口としての業務を行っている。また紹介患者受入の際に医療知識を有した看護師が対応することで適正な判断が実現でき、質の向上にもつながっている。

＜実績＞

地域医療予約件数(2024年4月～2025年3月) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予約件数	1,474	1,339	1,387	1,535	1,249	1,326	1,584	1,434	1,347	1,222	1,190	1,370	16,457



※地域予約件数(月別)を年度比較した数値をグラフ化したデータ(2022年度～2024年度)

① 紹介率・逆紹介率(2024年4月～2025年3月) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介率	74.1	68.2	70.9	70.7	66.3	69.9	68.5	68.1	64.2	71.7	70.1	67.6	69.1
逆紹介率	162.3	153.6	169.8	156.7	161.2	159.2	147.1	154.8	154.7	166.4	159.0	154.8	158.0

※地域医療支援病院用の算出基準にて率を算出

地域医療支援病院の要件である「紹介率が50%以上かつ逆紹介率70%以上」を十分に達成した。

② 地域連携クリティカルパス導入件数(2024年4月～2025年3月)

地域連携クリティカルパス導入に積極的に関わっている。

●がん地域連携パス

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
乳がん	1	5	3	4	3	5	3	2	5	2	1	7	41
胃がん	1	2	1	2	2	2	0	2	3	2	2	2	21
大腸がん	6	5	4	5	5	2	8	12	7	10	8	8	80
合計	8	12	8	11	10	9	11	16	15	14	11	17	142

●脳卒中地域連携パス

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
脳卒中	24	11	14	16	13	11	28	18	18	14	16	17	200

●大腿骨地域連携パス

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大腿骨頸部骨折	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

③ 医療従事者対象の勉強会・研修会(事務局)

地域医療連携室では、医師会等、地域の医療従事者向けの勉強会・研修会の事務局の役割を担っている。

＜りんくうカンファレンス＞

＜クリニカルレベルアップセミナー＞

【詳細は現況のページ参照】

④ 市民健康講座の開催

本年度は感染対策のため全て中止とした。

2. MSWの活動実績

＜業務＞

MSWは患者とその家族の生活や傷病の状況から生じる経済的・社会的・心理的不安や問題等の解決に必要な社会資源の情報提供や活用の助言・指導等を行い、院内の関係職種・地域との関係機関との連携を密にし、患者が安心して療養できるよう支援することを目的とした業務を行っている。

医療費の助成制度、生活費に関すること、転院やかかりつけ医紹介、在宅医療・介護、社会保障制度、家族関係の問題など多岐にわたる相談に応じている。

＜実績＞

早期退院支援に向けた継続した取り組みとして各病棟で週2日、退院支援カンファレンスを行い、入院前の生活状況、介護福祉サービスの利用の有無、退院後の生活課題等、情報を共有し、患者・家族に入院後早期に退院支援が行えるよう取り組んだ。

退院調整においては、件数としては例年通り、転院調整が最も多く、調整件数は1,332件(前年度は1,273件)と、1月あたり約111件(入院患者のみ)の調整ということになった。また退院前に行ったカンファレンスについては前年度と比較して介護連携139件から148件と増加し、共同指導137件から129件と減少している結果となった。今後も地域との連携を強めながら、患者が安心して退院後の生活

を送れるよう継続して取り組んでいく。

＜対外活動実績＞

- ① 大阪緊急連携ネットワーク 地域連携担当者会議
3次救急病院と慢性期病院の連携についてオンライン会議と会場会議(計4回)に出席した。
- ② 大腿骨地域連携パス会議
泉州地域における大腿骨地域連携パスの運用についてメール会議にて意見交換を行った。
- ③ 脳卒中泉州地域リハ連携会議
南泉州地域におけるリハビリに関する課題について、急性期病院、回復期リハ病院、医療療養型病院、連携開業医と情報共有を行い、地域連携パスの運用について協議(年3回の会議)。

＜各種調整実績と成果＞

【転院調整実績】 (件)

	2023年度合計	2024年度合計
外来から他院	40	45
入院から他院	1,273	1,332

【在宅調整実績】 (件)

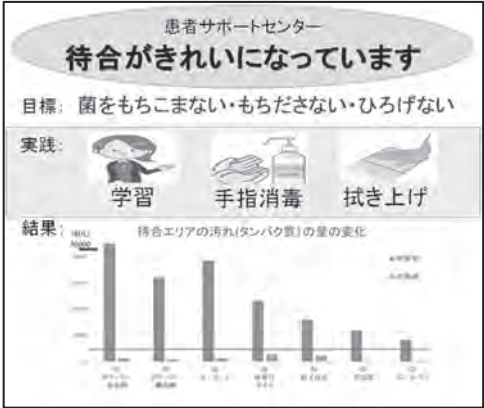
	2023年度合計	2024年度合計
在宅	365	375
(介護連携)	139	148
(共同指導)	137	129
施設	167	164

3. 看護師の活動実績

＜概要＞

救急外来・外来と定期的にミーティングをもち、放射線治療科看護・案内業務・病床管理の充実を図っている。放射線治療科では外来通院中から入院に備えることやアドバンスケアプランニングに関しての対応が充実、総合案内はトリアージ・診療科選定が充実した。病床管理は満床時も診察するコンセプトで予定・緊急入院件数共に増加した。

入院患者が増加し患者サポートセンターが混み合う状況になっているが、フロントナース活動強化やクラブとの協働において業務改善を重ね、引き続き「その人らしい生活を支える」を目標に、入院時だけでなく、入院決定前・入院中・退院後も外来や病棟で直接患者に対応する機会を増やすよう取り組んでいる。また、感染面では病棟への病原菌持ち込み予防対策で重点的に拭き上げを実施した。



＜実績・成果＞

問診等患者SC看護師対応実績(月平均件数)

項目	2022年度	2023年度	2024年度
患者SC利用総件数	383	416	462
予定入院患者SC利用件数	322	337	380
緊急入院患者SC利用件数	62	79	82
出張対応件数	63	82	88
夜間・緊急入院時の翌日対応件数	4	3	3
時間内入院患者人数	386	423	466
利用率	99%	98%	99%

手術関連(月平均件数)

項目	2022年度	2023年度	2024年度
手術前支援指示対応件数	115	108	109
手術前説明・案内(外科・泌尿器科件数)	68	67	72

患者SC関与の加算取得項目(月平均件数)

項目	2022年度	2023年度	2024年度
入退院支援加算Ⅰ	349	405	398
入院時 支援加算Ⅰ	76	81	63
入院時 支援加算Ⅱ	3	3	5
介護支援連携指導料(2回目も含む)	40	43	49
退院時共同指導料Ⅱ	9	11	10
総合機能評価加算	254	305	307
周術期口腔機能管理後手術加算	10	21	22
新入院患者数	776	798	850

患者SCにおけるクリニカルパス説明(月平均件数)

項目	2022年度	2023年度	2024年度
ペースメーカーパス	2	2	2
心臓カテーテル・ABLパス	74	60	52
消化器内科 EMRI泊2日入院パス	23	23	32
泌尿器科パス	15	17	14
整形外科パス	14	16	14
脳外科パス	5	5	4
外科パス		6	6
緩和ケアスクリーニング	61	58	66
認知症スクリーニング	248	271	309
嚥下スクリーニング	202	216	251

強化の取り組み(月平均件数)

項目	2022年度	2023年度	2024年度
患者SC内、看護師MSWミーティング開催件数	20	18	17
(入院時)退院支援カンファ参加件数	393	435	464
(2回以上)退院支援カンファ参加件数	51	67	92

＜次年度への抱負＞

入院患者数・稼働率を上げていく中で、全ての患者に入院退院支援が行き届くよう体制を整備し、より近隣地域情勢に沿った対応をめざす。